

拠点名称：住民と育む未来型知的インフラ創造拠点

代表機関	大阪大学	プロジェクトリーダー	関谷 毅 大阪大学総長補佐・先導的学際研究機構 教授
幹事自治体	大阪府、大阪市、摂津市、豊能町	幹事機関	清水建設株式会社、日本メクトロン株式会社
参画機関	大阪公立大学、奈良先端科学技術大学、東京工業高等専門学校、関西大学、神戸大学、大阪工業大学 (株)かんこう、(株)京阪流通システムズ、Next Group Holdings(株)、TOMOIKI VENTURES(株)、大和リース(株)、TPホールディングス(株)、ドローン・テクノサポート(株)、応用技術(株)、イノラックスジャパン(株)、IMV(株)、オンキヨー(株)、地球観測(株)、一般社団法人地域情報共創センター、曾我部小学校、茨木市、吹田市		

プロジェクトの概要

本提案では、大都市から自然豊かな山間部エリア等の多様なエリアが存在する大阪府を中心にリアルな社会課題に向きあい、**その解決策をモデルケースとして国内外に展開すること**を目標とする。その達成に向け、大阪大学のSAKIGAKEクラブ等をはじめとした気鋭の若手研究者の世界最先端の科学技術を活用した**“過酷な環境下でも命を預けることができる技術”**を社会に実装する。この住民から信頼されるセンサ技術等が街と住民の対話を促す翻訳機役割を担い、**住民と共に未来型のインフラを育むことができる社会を実現**する。またその取り組みを加速させるため、**中立的な組織である大阪大学が御旗となって産学官民の交流の場であるインキュベーション施設を設置し、関係するステークホルダーの共創を実現する仕組みを構築するとともに、持続可能な拠点運営を実現する。**

